

見通し

# ヤギを育てる

学校法人常磐会学園常磐会短期大学附属茨木高美幼稚園（大阪府茨木市）[3～5歳児]

<20年度の様子> 幼稚園で生まれた3頭の子ヤギのうち2頭が育った。3頭育てられなかったことが子どもにも保育者にも心に残る体験となってヤギへの関心が高まり、観察したり保育者と一緒に世話をしたりする姿が増える。

<21年度の様子> 昨年4歳児の時に出産に立ち会った子どもが5歳児になり、今まで以上に動物に対して関心を示し、進んで世話をしようとするようになった。そこで、触れ合うだけでなく、小屋の掃除やご飯の準備など子どもたちで進めていけるよう環境の見直しを行った。

動物以外の飼育で体験した主な内容

<p><b>不思議</b> クネクネやったのが蝶になった！</p>	<p><b>調べる・発見する</b> 何食べるのかな？ こんな小さいのがテントウムシの赤ちゃん？！</p>	<p><b>見て、触って感じる</b> ニョロニョロしてる プニプニしてる 足が出てきた！ 手が出てきた！</p>	<p><b>世話をする</b> 思いやりの気持ちをもつ ウンチとか掃除してあげたら喜ぶよ</p>
---------------------------------------	---	---	--

<3歳～5歳までの飼育体験の実態を把握し、21年度22年度の変容を捉える> (21・22年度に見られた顕著な姿)

	21年度 (青文字は昨年なかった内容)	22年度 新たな体験 (緑文字は特徴的)	変容
3歳児	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な動物を見る (ヤギ・アヒル・ウサギ)</li> <li>動物が餌を食べる様子を見る</li> <li>動物に餌をあげる</li> <li>5歳児から餌を分けてもらい、餌のあげ方を教えてもらう</li> <li>身近な生き物を見る、探す (ダンゴムシ・チョウチョ)</li> <li>保育室で生き物を飼育する (カタツムリ・ザリガニ・チョウチョ)</li> <li>5歳児が世話をしている様子を見る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>親ヤギの出産を心待ちにする</li> <li>ヤギの赤ちゃんの名前を考える</li> <li>ヤギの赤ちゃんを見る、触れ合う</li> <li>動物たちを見送る</li> <li>5歳児の世話の様子を見て刺激を受け世話を手伝う</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>飼育物への興味があっても、以前は見る以外の触れ合いは少なかった。しかし、5歳児の飼育の様子を見てまねたり、一緒に世話をしたりするようになってきている。</li> </ul>
4歳児	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な動物を見たり触れたりする (ヤギ・アヒル・ウサギ)</li> <li>動物が餌を食べる様子を見る</li> <li>動物に餌をあげる</li> <li>身近な生き物を見る、探す (ダンゴムシ・チョウチョ・テントウムシ・メダカ・トンボ)</li> <li>保育室で生き物を飼育し、保育者と一緒に世話をする (水をかえる、餌をあげる) (ハムスター・カタツムリ・ザリガニ・チョウチョ・メダカ)</li> <li>5歳児の世話の様子を見たり、世話の仕方を教えてもらい一緒にしたりする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>親ヤギの出産を心待ちにする</li> <li>ヤギの赤ちゃんの名前を考える</li> <li>ヤギの赤ちゃんを見る</li> <li>ヤギの赤ちゃんと触れ合う</li> <li>動物たちを見送る</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>飼育への関心が高くなっていることから、クラスでハムスターを飼育する。</li> </ul> 
5歳児	<ul style="list-style-type: none"> <li>昨年の飼育当番を思い出し取り組む</li> <li>保育者と一緒に飼育小屋の掃除をし、動物にに応じて餌を適度な大きさに切るなど世話をする (ヤギ・アヒル・ウサギ)</li> <li>4歳児に世話の仕方を伝える</li> <li>食べる野菜を調べ家庭から持ってくる</li> <li>虫や生き物の誕生に出会う</li> <li>ハムスター・ザリガニ・アゲハを育てる</li> <li>セミの羽化を見る</li> <li>身近な生き物に適する環境、餌など図鑑を見て調べる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>親ヤギの出産を心待ちにする</li> <li>ヤギの赤ちゃんの名前を考える</li> <li>ヤギの赤ちゃんを見る、触れ合い方を考え触れる</li> <li>動物を見送る</li> <li>名前や世話、園で飼うヤギなど、友達やクラスのみんなで話し合う</li> <li>体重測定をする</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>通常の飼育物への世話の言動から、飼育物の様子を感じ取り、思いやりのあるかわりをする。</li> <li>体重測定により、日々成長することを実感し、喜んで世話をする。</li> </ul>

## ポイント

全園児が共有する環境の飼育栽培物は、年間を通して年齢に関係なくいつでもかかわれる身近な存在です。「どのような体験をしてきたのか」「どのような体験が期待できるのか」具体的に把握することで、「子どもからの発想や興味・疑問を活かして、体験の深まりや質の向上を図る」貴重な環境になります。また、1年間や園の保育年数を見通した長いスパンで「科学する心」が育まれる体験の内容を把握することで、発達の特徴が見えてきます。